

事例

71

香川県

異業種人材として会社の持続的成長に資する 経営課題の提起・解決

雇用
契約
(フルタイム)

株式会社 大東精工

マシニングセンター用ブルスタッドホルト・
ツーリング各種設計・製作、太陽光発電

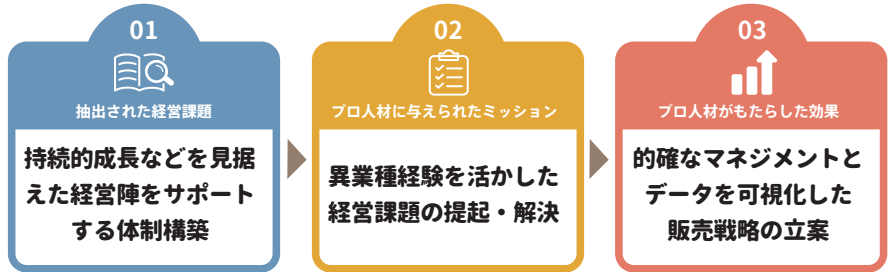
所在地 香川県東かがわ市
(主力工場)

創業年 1970年

従業員数 16名



支援の流れ



01 持続的成長などを見据えた 経営陣をサポートする体制構築

次期社長となる予定の現取締役の妻がPC・Web関係や各種申請等の総務事務を担っていたものの、子育てをきっかけに一旦会社を離れ後任が不在となりました。そのような中で各種補助事業が採択されるとともに新製品の販売や新工場の建設が決まりました。総務事務面でのサポートに加え、当社の持続的成長や数年内に控える社長交代も見据え、経営面でもサポートが可能な人材の確保が喫緊の課題でした。当社の経営課題を解決できそうな人材はハローワークでは難しいと考え、従前よりお付き合いがある梅澤氏が率いる香川県プロフェッショナル人材戦略拠点に相談することにしました。人材紹介会社を介しての採用は当社として初めての試みでした。



熟練技術社員と取締役の製造方法打ち合わせに同席する後藤氏。手が空いたときは現場作業を勉強するようにしている。

02 異業種経験を活かした 経営課題の提起・解決

人材紹介会社から、大手企業・グローバル企業での勤務、起業やシンクタンクでのコンサル経験がある後藤氏を紹介されました。大手企業の知見を当社に取り入れることが可能であること、経営者目線が理解できること、PC・Web関係やデータ分析などにも詳しいという、当社が望む人材でした。また、異業種での経験は、違った目線で経営課題提起、解決につながると考えました。一番の決め手は、真摯に物事に対峙しようとする人となりでした。入社を決めていただいた後も、本当に来てくれるかという不安もありましたが、当社のもづくりに対する姿勢を理解いただきました。

03 的確なマネジメントとデータ を可視化した販売戦略の立案

新製品の販売に備え、カタログと動画の制作に早々に着手する必要がありました。後藤氏の入社によって、取締役の構想や思いを具現化し、制作することができました。その過程で、過去データを見える化した販売戦略立案や商標の登録申請を行うなどの思わぬ成果もありました。また、地元大学教授と共同で製造工程管理手法の開発にも着手しました。製造現場にも足を運び、従業員ともすぐに馴染み、若手従業員の悩み事などにも耳を傾けるなど、経営層との潤滑油としての役目を果たしています。

プロ人材【入社時のプロフィール】



後藤 健文 氏

役職名：社長室長
年齢：53歳
家族構成：妻、息子2人(一人は職に自立)、猫2匹
出身地：愛知県 選流ルート：転居なし
業務遂行手段：事務所での業務

主な経歴：外資系金融市場等に21年携わる。妻の出身地に移住し一旦起業後、シンクタンクに勤務。

東京から移住後、地域企業の成長こそが地域活力の上昇につながると考えていました。古い体質の前職に見切りをつけ、同窓がマネジメントする人材紹介会社から、当社を紹介されました。面談を通じ、全てのものづくりの原点である工作機械のツールホルダ業界の重要性や当社の将来ビジョン、創業家の方々の人柄に惹かれ入社を決めました。異業種で勉強の日々ですが、自身のキャリアが製造業で役立つことに喜びを感じています。今後は、加工技術も習得したいです。

企業からの声



取締役営業技術部長 原田 康弘 氏

後藤氏のプロフィールを拝見し、インスピレーションを受けました。キャリアの魅力はもちろんですが、自然環境に恵まれた山あいに移住し、山菜採りなど自然を楽しむ生活をされていること、機械いじりやDIYが趣味であることなど、我々創業家に近い趣向であることが窺えました。お会いしてインスピレーションどおりだったことに加え、年齢的にも現社長と私の間で、ジェネレーションギャップを埋めてくれると感じました。入社後は、会社にもすぐ馴染み、期待どおり活躍していただいています。異業種目線での様々な提案には新しい発見があります。香川県プロフェッショナル人材戦略拠点を利用しなければ成し得なかった人材採用となりました。